

重大な労働災害が 増加しています!!

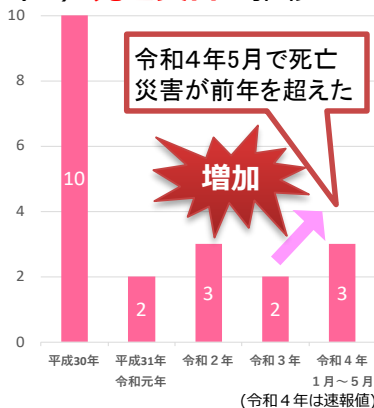
～ 労働災害を防止する取り組み強化（要請） ～

令和4年、広島中央労働基準監督署の管内で**重大な労働災害（死亡災害）**が増加しています。

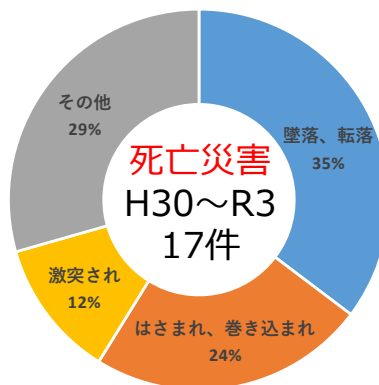
労働者を使用する事業者の方々には、今後の重大な労働災害の発生を防止するため、**災害の原因（不安全な状態）を取り除き、正しい手順（不安全な行動をなくす）で作業を行う**といった、**労働災害の発生を防止する取り組みを強化**していただきますようお願いいたします。

1 広島中央署の労働災害の発生状況（第13次防：平成30年～）

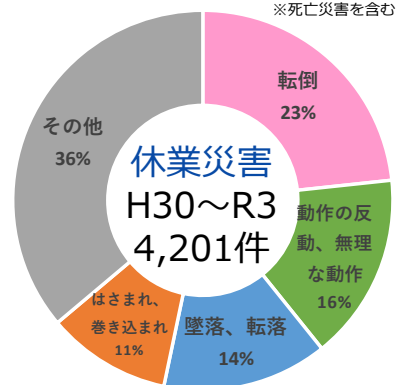
(1) 死亡災害の推移



(2) 事故の型別(死亡災害)



(3) 事故の型別(休業災害)



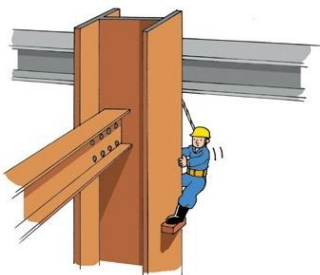
広島中央労働基準監督管内統計
（労働者死傷病報告(休業4日以上)集計）

(4) 第13次防の労働災害統計の分析

- ア 令和4年（最終年）は死亡災害が増加傾向
- イ 死亡災害は「墜落、転落」、
「挟まれ、巻き込まれ」で約59%を占める
- ウ 休業災害は「転倒」が多い。
- エ 休業災害の「その他」は近年、
新型コロナウイルス感染症が増加

2 令和4年に管内で発生した重大な労働災害（死亡災害）

①高所からの 墜落災害



②移動式クレーンの 転倒災害



③車両系建設機械の 転倒災害



イラストは同種災害のものであり、実際の発生状況とは異なります。
（出典：厚生労働省「職場のあんぜんサイト」）



災害を防止するためのチェックリスト

労働災害を防止するため、次の事項について、ご確認いただきますようお願いいたします。

(1) 「墜落、転落」災害の防止

- ☐ 高さ2m以上の箇所で作業を行うときには、安全な作業床を設けているか
- ☐ 高さ2m以上の作業床の、端、開口部等で、墜落のおそれのある箇所には、囲い等（囲い、手すり、覆い等）を設けているか
- ☐ 安全な作業床を設けることが困難なときは、安全帯を使用する等の危険防止措置を講じているか
- ☐ 安全帯を使用させるときは、安全帯を安全に取り付けるための設備を設けているか
- ☐ 高さ、深さが1.5mを超える箇所には、安全に昇降する設備を設けているか
- ☐ 足場に、墜落防止設備（わく組足場：交差筋交い、下さん、幅木等、それ以外の足場：手すり、中さん等）を設けているか。
- ☐ 足場に、物体の落下を防止する措置（幅木、メッシュシート、防網等）を設けているか
- ☐ 足場で、その日の作業を開始する前に、墜落防止設備の取り外し、脱落の有無について点検・補修しているか

より詳しく(インターネット)

厚生労働省リーフレット

- ・「足場からの墜落防止対策を強化します。
～平成27年7月1日から施行～」
- ・「安全帯が「墜落制止用器具」に変わります」

(2) 「挟まれ、巻き込まれ」災害の防止

- ☐ 作業場内に、安全な通路を設け、かつ、これを常時有効に保持しているか
- ☐ 機械の回転軸、歯車に、覆い、囲い等を設けているか
- ☐ 機械の掃除、給油、検査、修理または調整を行う場合、機械の運転を停止しているか
- ☐ 雇入れ時等の教育で、機械等の危険性、取扱い方法に関する教育を行っているか（製造業等）

(3) 重機の災害の防止

- ☐ フォークリフト、車両系建設機械（ドラグ・ショベル等）で作業を行うときは、安全な作業計画を定め、それにより作業を行っているか
- ☐ フォークリフト、車両系建設機械（ドラグ・ショベル等）で作業を行うときは、接触による危険のおそれのある箇所に、労働者を立ち入らせていないか
- ☐ 車両系建設機械（ドラグ・ショベル等）で作業を行うときは、転倒を防止するため、地盤の不同沈下を防止する等の必要な措置を講じているか
- ☐ フォークリフト、車両系建設機械（ドラグ・ショベル等）の運転資格を有しているか

(4) クレーン作業の災害の防止

- ☐ 移動式クレーンの作業の実施について、強風時に作業を中止しているか
- ☐ 移動式クレーンの転倒を防止するため、作業場所の広さ、地質、荷の重量等を考慮して、作業方法を決定しているか
- ☐ 移動式クレーンのアウトリガーの張り出しは十分か
- ☐ 移動式クレーンの上部旋回体と接触して危険のおそれのある箇所に、労働者を立ち入らせていないか
- ☐ クレーン機能を付きドラグ・ショベルで、荷を吊り上げるときは、クレーンモードに切り替えているか。（過荷重防止）

(5) 「転倒」災害の防止

- ☐ 通路、階段、出口に、物を放置していないか
- ☐ 床の水たまりや、氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いているか
- ☐ 通路や階段を、安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されているか
- ☐ 靴は、すべりにくく、ちょうど良いサイズのものを選んでいるか
- ☐ 転倒しやすい場所の、危険マップを作成し、周知しているか
- ☐ 段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけているか
- ☐ ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止しているか
- ☐ ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れているか
- ☐ 転倒を予防するための教育を行っているか

より詳しく(インターネット)

厚生労働省ホームページ

職場の安全サイト

「STOP! 転倒災害プロジェクト」

(6) 新型コロナウイルスの感染防止対策

職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のための

「取組の5つのポイント」

- ☐ テレワーク・時差出勤等を推進しているか
- ☐ 体調がすぐれない人が、気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気を作っているか
- ☐ 職員間の距離確保、定期的な換気、仕切り、マスク徹底など、密にならない工夫を行っているか
- ☐ 休憩所、更衣室などの「場の切り替わり」や、飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策・呼びかけを行っているか
- ☐ 手洗いや手指消毒、咳エチケット、複数人が触る箇所の消毒など、感染防止のための基本的な対策を行っているか

より詳しく(インターネット)

厚生労働省リーフレット

- ・「職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため
～取組の5つのポイント～を確認しましょう!」
- ・「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大
を防止するためのチェックリスト」

(7) 熱中症の災害の防止

- ☐ 熱中症対策（暑さ指数（WBGT値）を確認して、測定結果に応じた対策を行う等）を実施しているか

「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」

より詳しく(インターネット)

厚生労働省ホームページ

・「職場における熱中症予防情報」

(8) 高齢労働者、外国人労働者の災害の防止

- ☐ 高齢労働者が安心して安全に働ける職場環境の実現に向けて、取り組みを行っているか
- ☐ 母国語教材を活用する等、外国人労働者が理解できる方法による安全衛生教育を実施しているか

より詳しく(インターネット)

厚生労働省リーフレット

- ・「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」
- 厚生労働省ホームページ
- ・「外国人労働者の安全衛生対策について」安全衛生教材等

**災害の原因（不安全な状態）を取り除き、
正しい手順（不安全な行動をなくす）で作業を行うことが、
労働災害の防止につながります。**